

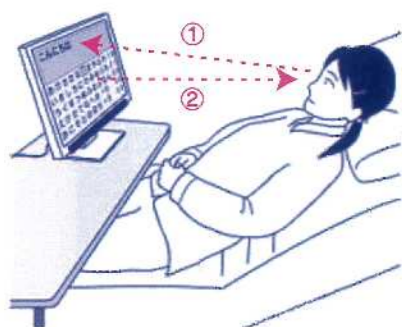
セラピストだより

「視線入力」が公費として認められるようになりました

障がい者や難病患者の意思疎通を支援する情報通信技術の開発が急速に進んでいます。当事者の方は、声が出なくても、身体が動かさなくても、伝えたい気持ちはあります。そんな思いを支援する補装具に重度障害者用意思伝達装置があります。

重度障害者用意思伝達装置には付属品のスイッチが必要で、従来は身体状況に応じて7種類の中から選択していましたが、新たに「視線入力」が加わりました。このスイッチにより、200ページにも及ぶ書籍を出版された筋萎縮性側索硬化症(ALS)の方もおられるようです。これまで以上に、当事者の方の気持ちが届きやすい世の中になれば良いですね。

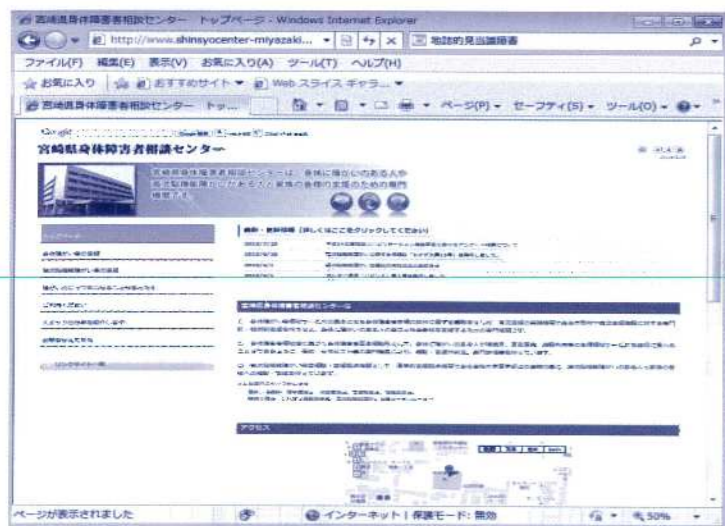
補装具の申請手続きは、お住まいの市町村にお尋ねください。指定医の意見書と判定医の判定が必要になります。



「視線入力」のイメージ

- ① 文字を目で追う
- ② センサーが目の動きを感知する
- ③ 「注視」して文字を選択する

身体障害者相談センターのホームページのご案内



当センターでは、ホームページで以下のような情報を提供しています。

(主な内容)

- ・身体障害者手帳について
- ・補装具について
- ・更生医療について
- ・高次脳機能障がい者の支援 など

URLは <http://www.shinsyocenter-miyazaki.com/> です。是非ご覧ください。

身障センター 宮崎 **検索**

ハビリス

宮崎県身体障害者相談センター
(高次脳機能障がい総合相談・支援拠点機関)
〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2
TEL : (0985) 29-2556 (代)
FAX : (0985) 31-3553
<http://www.shinsyocenter-miyazaki.com/>

ハビリスの名は、リハビリテーションの語源である、ラテン語の、re (再び) + habilis (適した、ふさわしい) + ation (状態にする) から採ったものです。

目次

- ひだまり～聴こえとことばの相談～について
- 「高次脳機能障がい」について
- セラピストだより(進化する意思伝達装置)
- 身体障害者相談センターホームページについて

ひだまり

(聴こえとことばの相談)

「何度も聴き返すことが多いけど、ちゃんと聴こえているかしら…」
「中耳炎を繰り返しているので聴こえが気になる…」
「ことばが遅いのでは…」
「発音がはっきりしない…」 などご心配なことはありませんか。



聴こえやことばについてご心配をお持ちの方々を対象に、聴力検査やことばに関する相談等を行っています。検査を受けてみたいと思われる方は、お気軽にご相談ください。

- 相談の日時 毎週火曜日 午後1時～午後4時
※検査・相談の時間は約1時間ほどです。
※業務の都合等で日時が変更になることがあります。
- 場 所 宮崎県身体障害者相談センター
宮崎県総合保健センター 5階 (聴覚相談室・検査室)
*心理検査室・言語相談室は1階です。
- 対 象 者 乳幼児から大人まで
- 内 容 聴力検査・発達検査・言語評価、指導など
(耳鼻科医師・看護師・臨床心理士・言語聴覚士が相談・検査に応じます。)
※料金は無料です。
※予約とさせて頂いておりますので、まずはお電話をお願いいたします。

高次脳機能障がい「相談窓口」から

高次脳機能障がいとは、病気や事故などで脳が損傷を受けたことにより、記憶・注意・思考・言語・学習などの能力に障がいが生じた状態のことです。身体の障がいとは異なり、外見からは理解されにくいことから、『見えない障がい』とも言われています。

脳血管障害・脳炎・脳腫瘍などの脳の病気や、交通事故・転落事故などの後から、以前との違いや以下のような症状で困っていませんか？

- ◆ 新しいことを覚えられない、何度も同じ事を繰り返し聞くようになった。
- ◆ 何かするとミスが多かったり、集中力がなくなった。
- ◆ 仕事を手順どおりに出来ない、指示がなければ行動できなくなった。
- ◆ ちょっとしたことでも怒ったり、無制限に食べたり、お金を使ったりする。
- ◆ 普通に出来ていたことがうまく出来なくなった。 など…

…それはもしかしたら「高次脳機能障がい」かもしれません。

当センターでは、**高次脳機能障がいに関する支援相談**を行っています。

相談は、電話・電子メール・面接でお受けしています。

面接は予約制ですので事前にご連絡ください。

面接相談日

原則、火曜日 9時30分～12時
水曜日 9時30分～15時
看護師・臨床心理士が対応

電話でのご相談

☎0985-29-2556
月曜日～金曜日(祝日・年末年始は除く)
9時～15時30分

高次脳機能障がい家族会 あかり

をご紹介します。

高次脳機能障がいは、「見えない障がい」であることから社会生活等で色々な困難が生じてても周りから理解してもらえないことが多くあります。

家族会は、当事者の方やご家族同士が交流を図り、悩みを語り合い情報を交換しあって学び合う場となっています。

定例会 毎月第3土曜日午後 場所：宮崎市橘通西1丁目1-2 市民プラザ
連絡先 ☎090-6421-1192 E-mail：akari.kazokukai@ymobile.ne.jp
(時間や場所は確認の上ご参加ください。)

開催予定の**高次脳機能障がいに関する講演会**をお知らせします。

高次脳機能障害ファシリテーター養成講座 慢性期でも役立つ！「高次脳機能障害のリハビリと支援」

-地域支援のできる集団リハビリテーション、マインドフルネス瞑想の話題を中心に-

11月28日(木)9時30分～16時(受付9時から)

場所：宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター5階 大研修室

対象：当事者ご家族、医療・保健・福祉・行政・教育機関の関係者、一般の方、等

内容：「マインドフルネス訓練(注意・情動のコントロール)」

「共感性とコミュニケーション能力を伸ばすための訓練と支援」

「当事者の視点に基づく支援と集団リハビリ」についての解説や実践です。

講師：医療法人社団敬智会 梶原病院 内科部長 梶間剛医師をはじめ高次脳機能障がいのリハビリ、支援を専門とする理学療法士、作業療法士、看護師等

募集：100名(FAX・Eメールでの申し込み 締切り11月15日)

主催：宮崎県身体障害者相談センター FAX 0985-31-3553

E-mail：shintaishogaisha-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp

令和元年度高次脳機能障がい講演会(TV会議会場あり) 演題：「高次脳機能障害者にとって主体性が重要」

12月9日(月)19時～21時

場所：宮崎市和知川原1丁目101 宮崎県医師会館

TV会議場：都城、延岡、日向、児湯、西都、南那珂、西諸、西臼杵

対象：医師及び医療機関で診療に従事する看護師、理学療法士・作業療法士等

講師：三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック 院長 長谷川幹医師

主催：宮崎県医師会 問い合わせ先：☎0985-22-5118



高次脳機能障害～今知っておきたいこと～

令和2年1月31日(金)13時30分～16時(受付13時から)

場所：宮崎市霧島1丁目1-2 宮崎県総合保健センター5階 大研修室

対象：当事者ご家族、医療・保健・福祉・行政・教育機関の関係者、一般の方、等

内容：高次脳機能障がいの基礎と今話題になっていることを織り交ぜての講演

講師：日本高次脳機能障害友の会顧問

中央大学講師 公認心理師 臨床心理士 山口加代子氏

募集：100名(FAX・Eメールでの申し込み 締切り1月10日)

主催：宮崎県身体障害者相談センター FAX 0985-31-3553

E-mail：shintaishogaisha-sodan-c@pref.miyazaki.lg.jp



* 詳しい情報は、当センターのホームページやチラシでご確認ください。